

⑱美瑛川地区かわまちづくり事業

～社会資本整備により出現した奇跡の絶景、地域と考える水辺整備～

授賞機関 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部
北海道 美瑛町

キーワード 青い池、サイクルツーリズム、観光振興

全建賞審査委員会の評価ポイント

地域の観光資源である「青い池」と美瑛町中心市街地をサイクリングロードで結ぶ、川と街が一体となった取組み。地域の意見を踏まえ、社会実験を行い、サイクリングロードの整備（舗装、河畔林伐採）やサイクリストが利用しやすいように街側でレンタサイクルなどの取組みが進められている点が評価された。

1. はじめに

美瑛町は、「丘のまちびえい」として広く知られており、市街地周辺の丘陵地の美しい景観、世界的に有名となった「青い池」、サイクリング等イベントへの参加を目的に、国内外から多くの観光客が訪れている地域である。美瑛町では、美瑛の丘陵地帯を駆け抜ける160kmのロングライドのサイクルイベント「丘のまちびえいセンチュリーライド」を平成22年度から実施し、サイクルツーリズムの普及・振興に努めており、本イベント等を契機に、レンタサイクルを利用して近隣の観光資源を訪れる観光客やサイクリストも増加している。

2. 事業の概要

美瑛町を貫流している美瑛川の魅力ある河川空間をサイクリングコースとして利用し、美瑛町の観光資源が集中する上流（山岳・温泉エリア）と下流（丘陵・市街エリア）間を導線で結ぶことによって観光振興を図ることを目的とした「美瑛川地区かわまちづくり計画」を策定し、平成27年度から令和元年度にかけて美瑛町のまちづくりと連携した整備を行い、全長20.8kmの走行が可能となった。コース整備にあたっては、北海道内や地元



現地試走会の様子

のサイクリスト、美瑛川沿川の飲食店経営者などからなる美瑛川地区かわまちづくりワーキンググループを設置し、現地試走や沿川の店舗等と連携した社会実験等を通して、整備内容や地域との連携方法、PR方法等に関する意見交換を行い、それら意見等を踏まえた整備を実施した。

3. 事業の成果

ワーキンググループでの議論により、誰もが美瑛川沿いの素晴らしい景観や観光スポットを楽しめる良好なコース整備を行うことができた。また、「美瑛川・青い池サイクリングコース」を広く周知するためのコースマップやPR動画の作成・配布を行い、利用促進を図った効果等も有り、サイクリングコースが認知され、自転車で「青い池」等の観光資源を訪れる利用者も増加傾向となっている。



美瑛川・青い池サイクリングコース

4. おわりに

美瑛町では、観光入込客数が近年増加傾向であることを踏まえ、今後もサイクリングコースのPR、イベント等での活用、利用者へのサポート体制など、地域と連携したフォローアップにより、かわとまちが一体となった観光振興・地域の活性化が一層図られることを期待する。

賛助会員 (株)建設環境研究所、日本工営(株)